

中小企業の生産性を高めるにはどうしたらいいのか？ ～まず必要なのは環境変化に対する正しい認識と行動する覚悟～

2018.2.19.

みずほ総合研究所

経済調査部

太田智之

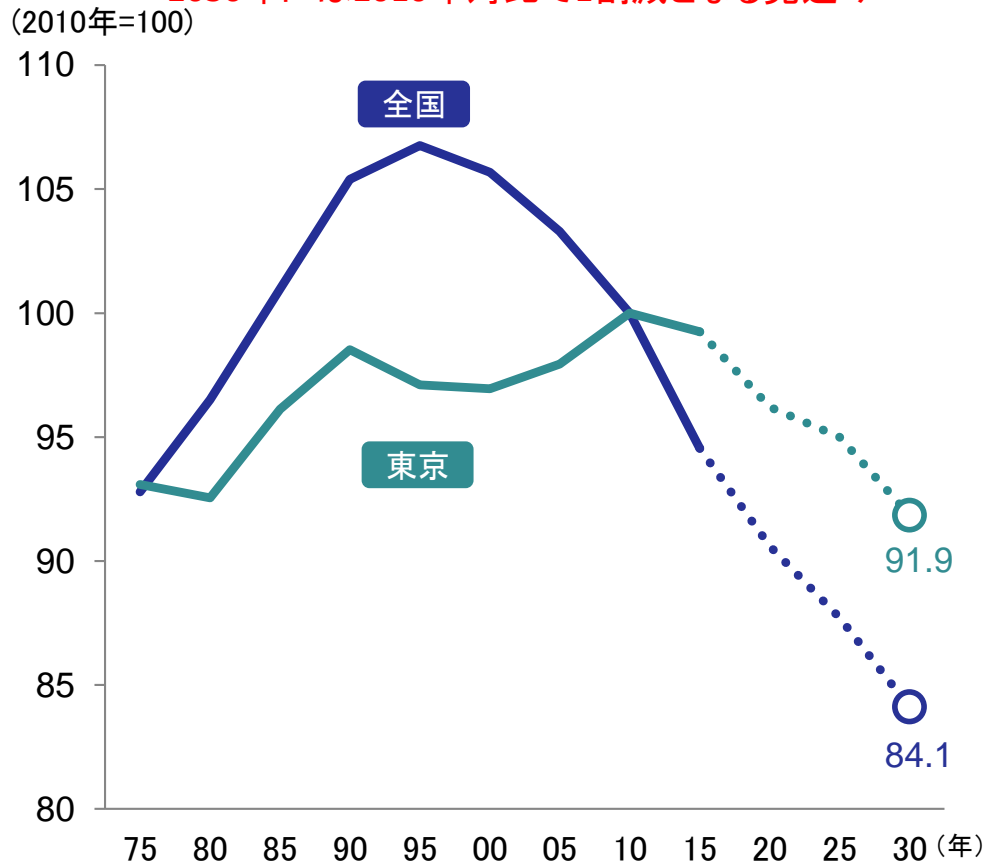
tomoyuki.ota@mizuho-ri.co.jp

なぜ「生産性」が大事なのか？
～日本が直面する「3つの潮流」

人口減少：日本が存在感を保つには生産性を高めることが不可欠

日本と東京の生産年齢人口

東京都でも生産年齢人口が減少に転じる
2030年には2010年対比で1割減となる見込み



(注)15~64歳人口の数。破線部は推計値。

(資料)総務省、社会保障人口問題研究所より、みずほ総合研究所作成

1人当たり名目GDPランキング

日本はおよそ4万ドルで22位。産業構造の違いなど考慮する必要はあるが改善の余地あり？

国名	1人当たり 名目GDP (ドル)
1 ルクセンブルグ	104,095
2 スイス	80,346
3 ノルウェー	70,553
4 マカオ	69,559
5 アイルランド	64,782
6 アイスランド	59,629
7 カタール	59,514
8 米国	57,608
9 デンマーク	53,745
10 シンガポール	52,961
⋮	⋮
⋮	⋮
21 英国	40,050
22 日本	38,883
23 ニュージーランド	38,278

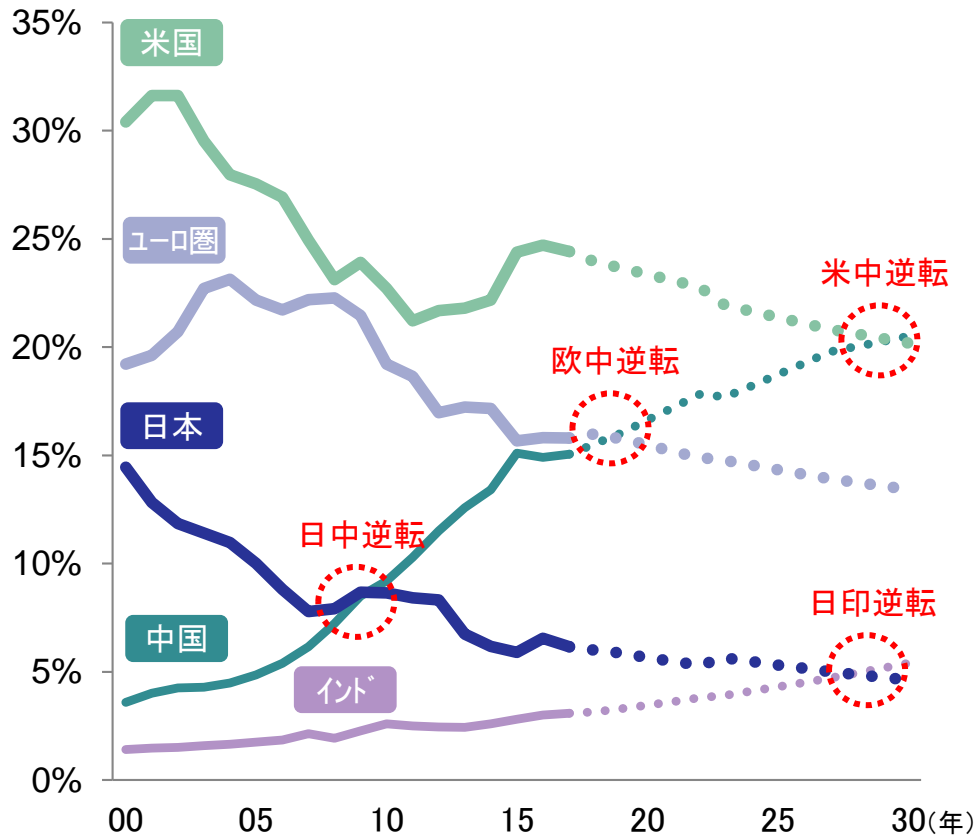
(注)2016年の数字。

(資料)IMFより、みずほ総合研究所作成

グローバル化：生産性向上を目論むのは日本だけじゃない

主要国・地域の名目GDPシェア

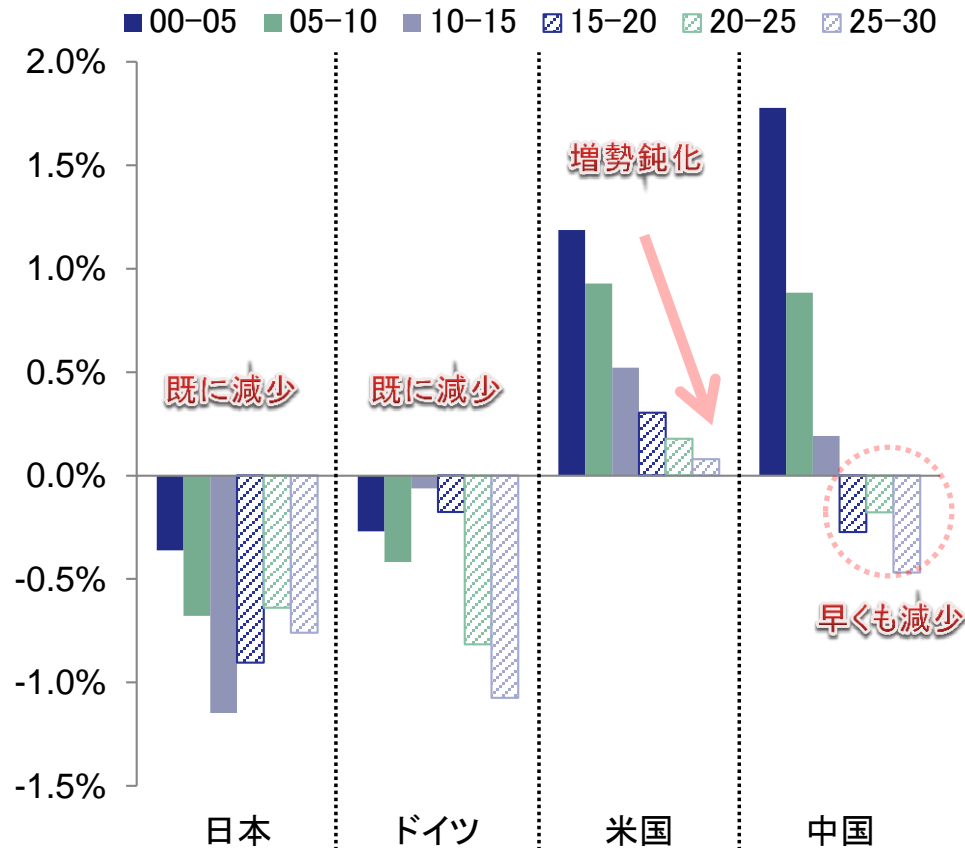
目覚ましい中国・インドの発展
今後10年に予想される3つの逆転



(注) 破線部の2022年まではIMF、それ以降はみずほ総合研究所の予測値。
(資料) IMFより、みずほ総合研究所作成

主要国の生産年齢人口

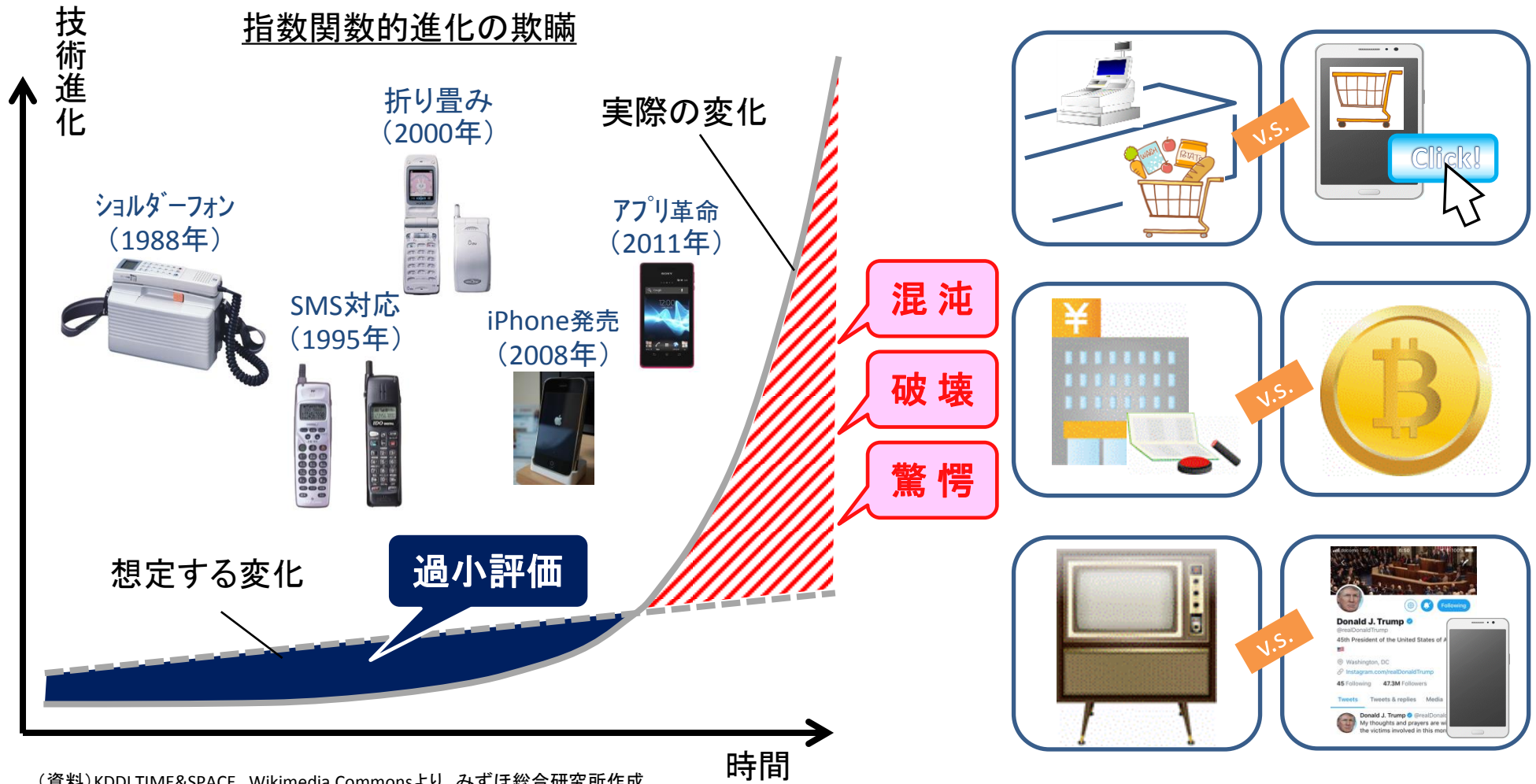
経済の担い手が減るのはどの国も同じ



(注) 当該期間における年平均増減率。斜線部は世界銀行の推計値。
(資料) 世界銀行より、みずほ総合研究所作成

技術革新:テクノロジーの変化がもたらす期待と不安

テクノロジーが変える社会のあり方



(資料) KDDI TIME&SPACE、Wikimedia Commonsより、みずほ総合研究所作成

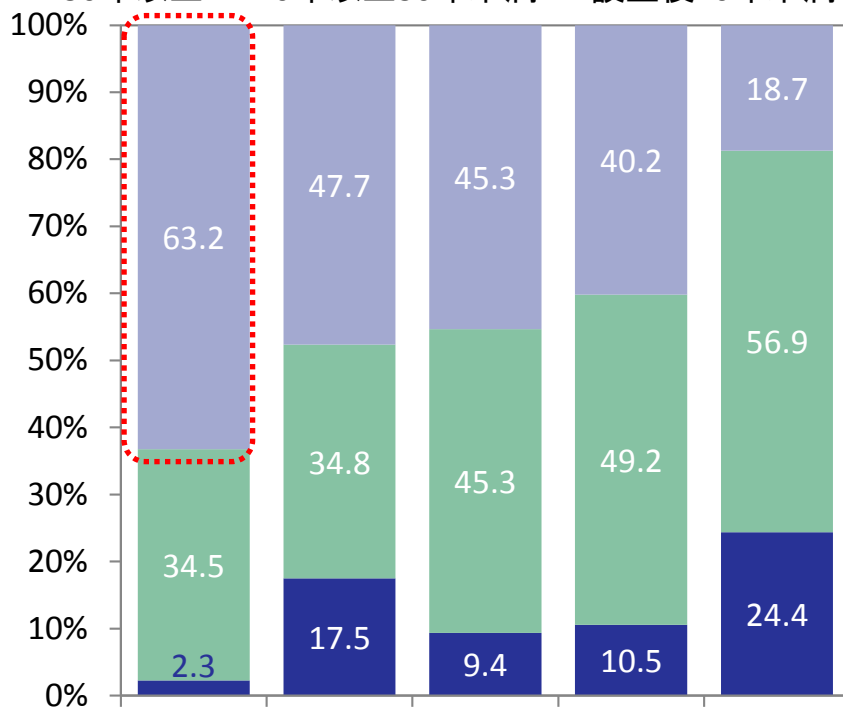
「生産性」を左右する3つのキーワード
～効率化・高度化・みえる化～

資源配分の効率化：経営資源を有効活用しているか？

低生産性企業の社齢別構成割合

日本は長年存続している企業の割合が高い。研究開発投資や開発人材の慢性的な不足を招いている可能性

■ 50年以上 ■ 10年以上50年未満 ■ 設立後10年未満



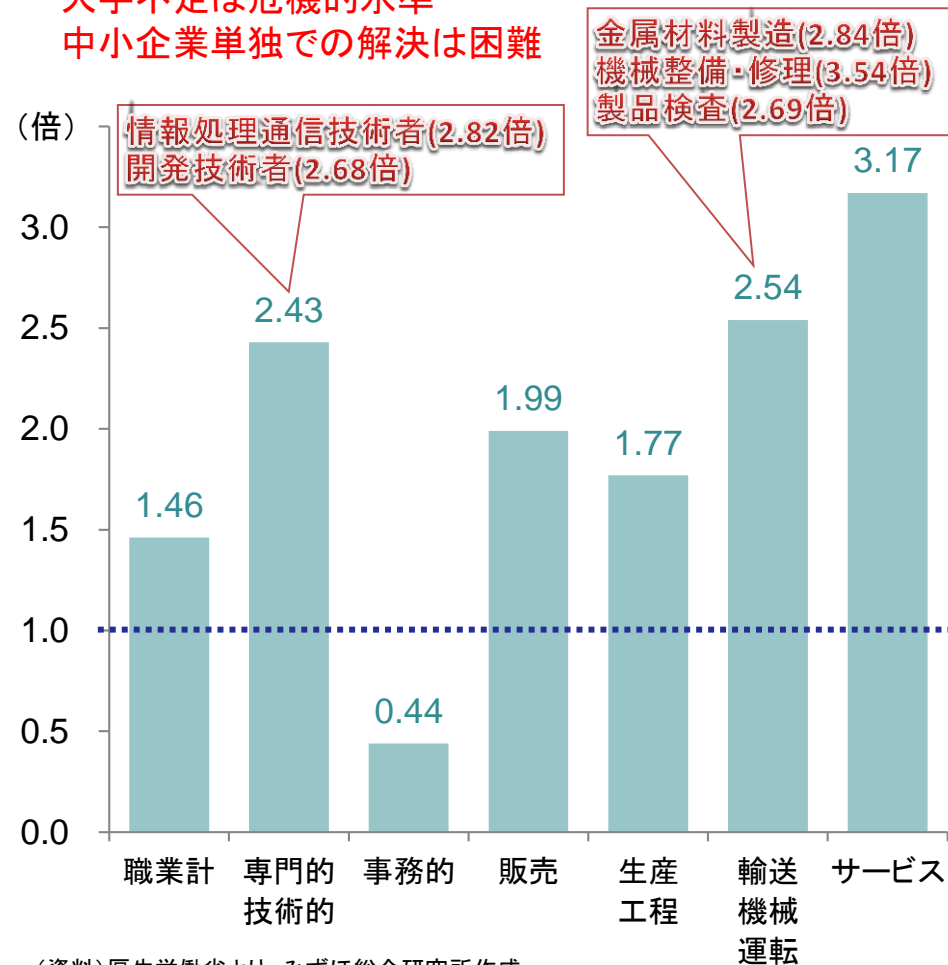
(注)1. Andrews et.al. (2015)を参考に算出。低生産性企業は、生産性(TFP)の水準が所属する産業の平均以下の企業とした。

2.1986年～2011年のプールデータ。サンプル数は日本が延べ5,836社、英国が延べ1,857社、ドイツが延べ278社、フランスが延べ863社、米国が延べ13,456社。

(資料) Bureau van Dijk, OSIRIS, OECD, STAN Databaseより、みずほ総合研究所作成

職業別有効求人倍率

人手不足は危機的水準
中小企業単独での解決は困難



(資料) 厚生労働省より、みずほ総合研究所作成

資源配分の効率化：日本型雇用慣行がもたらす非効率

日本型雇用慣行と密接に結び付いた現行制度

日本型雇用慣行

無限定社員

職務を限定しない働き方
ゼネラリストを重用する風土

年功序列型賃金

成果ではなく
年齢に応じた賃金体系

定年退職

能力に関係なく
年齢で雇用関係が終了

制度・慣習

教育

若年期偏重
画一的教育
個性軽視

働き方

正社員重視
男女分業
副業禁止

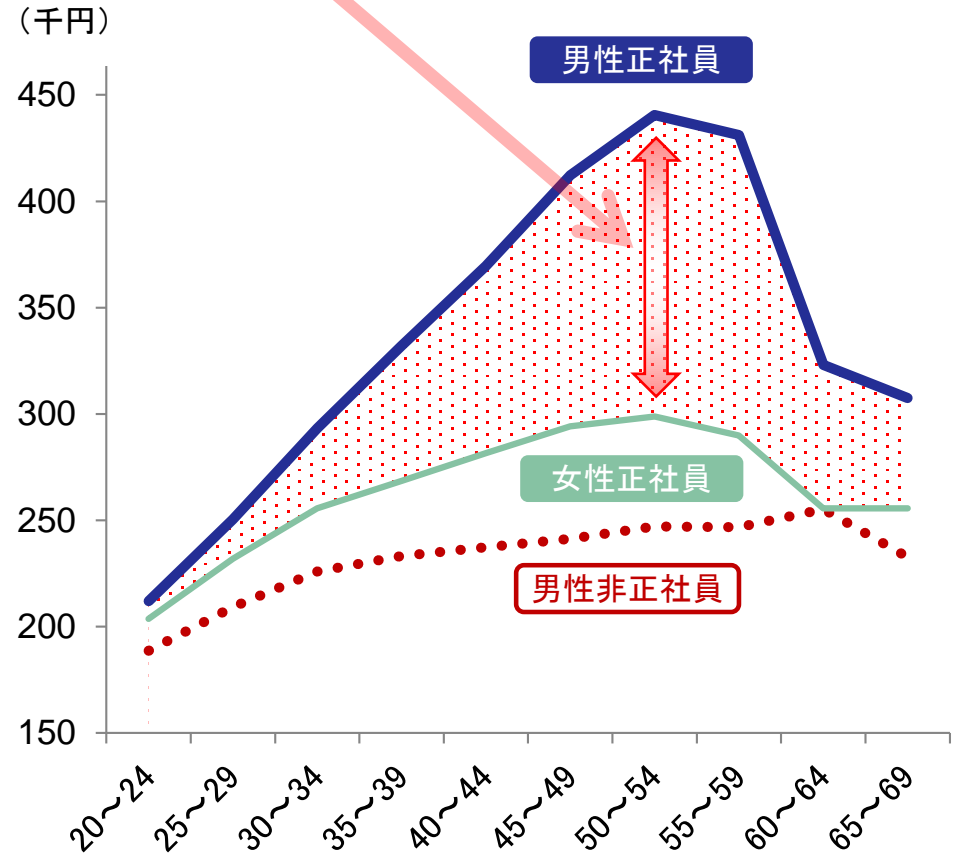
社会保障

就労意欲阻害
老後不安
財政危機

(資料) みずほ総合研究所作成

男女別にみた正社員の賃金カーブ

テレワーク導入などで女性の活躍を後押し
オープンイノベーションの促進にも期待

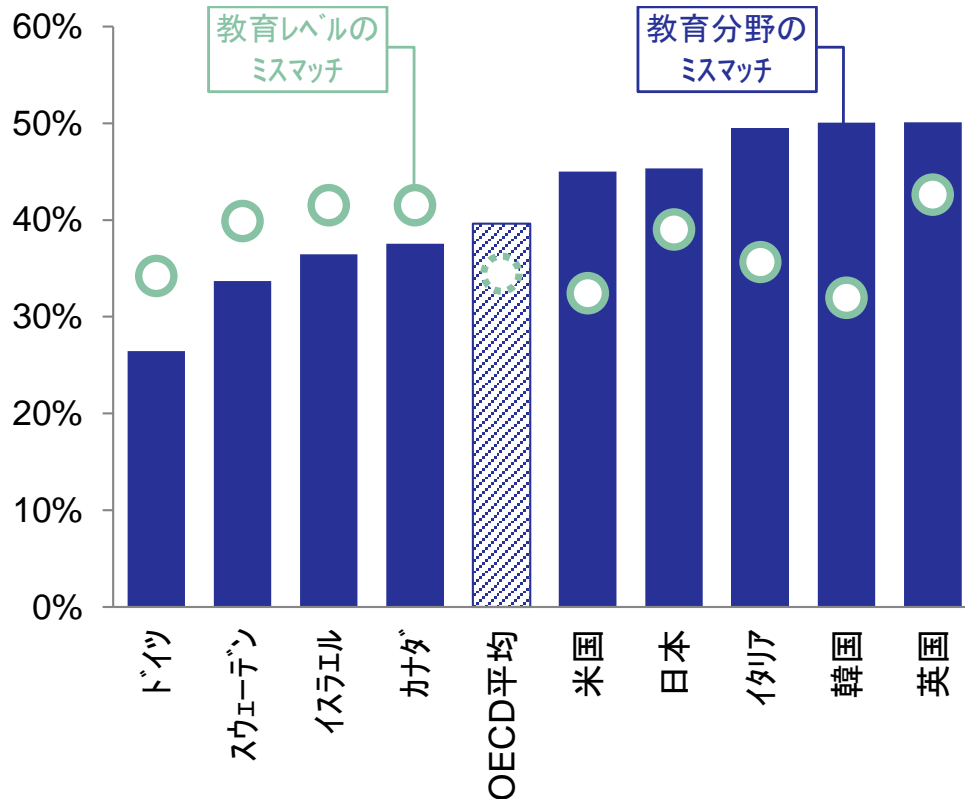


(資料) 厚生労働省より、みずほ総合研究所作成

資源の高度化：情報化・サービス化に対応した人材力・組織力

教育分野と教育レベルのミスマッチ

人材のミスマッチは各国共通の悩みだが、日本は相対的にミスマッチが大⇒人材育成が喫緊の課題

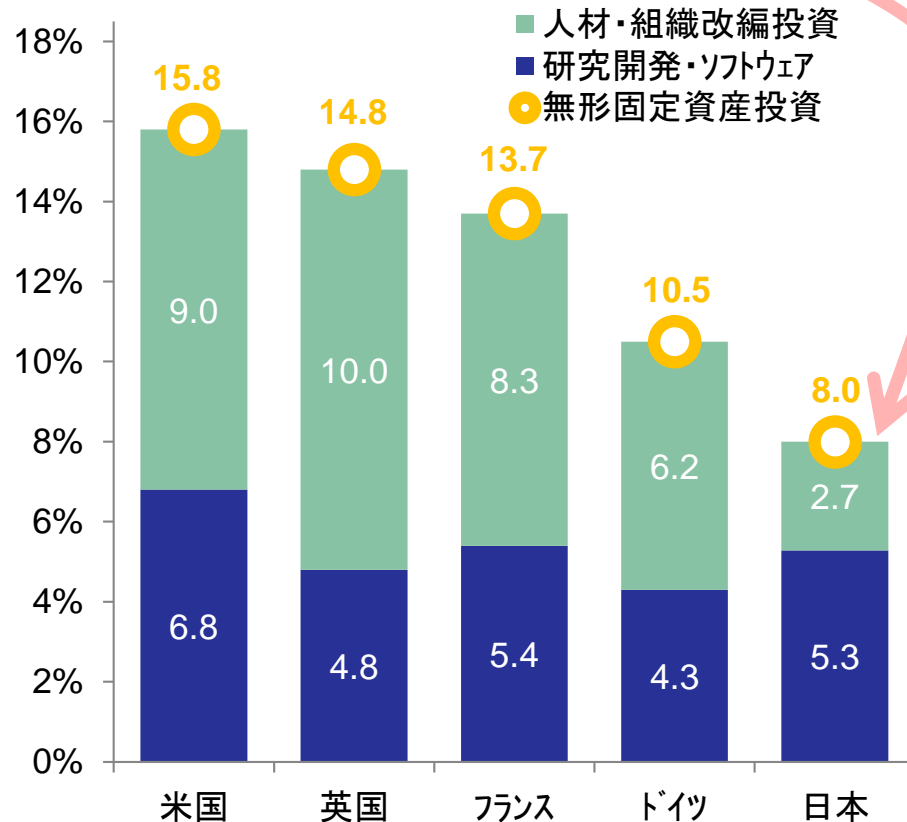


(注)PIAAC(Programme for International Assessment of Adult Competencies' Survey of Adult Skills)の結果を用いて、OECDが計算した結果。

(資料)OECD "Skills Matter - Further Results from the Survey of Adult Skills-"より、みずほ総合研究所作成

無形固定資産投資(対GDP比)の国際比較

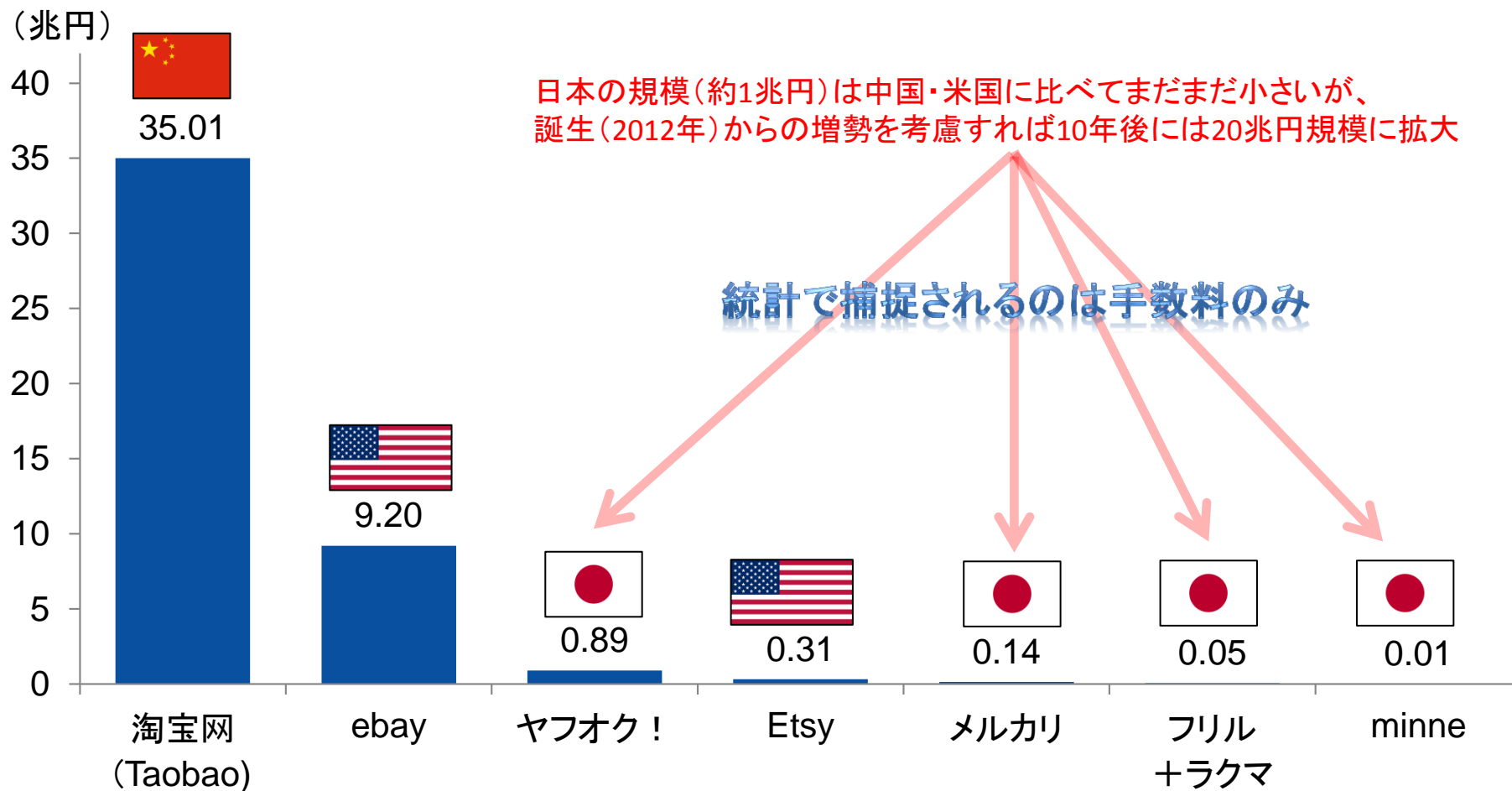
研究開発投資・ソフトウェア投資は遜色ないものの業務プロセスの見直し(組織改編)や人材投資は見劣り



(資料)OECD "Science, Technology and Industry Scoreboard 2015"、経済産業研究所「JIPデータベース」より、みずほ総合研究所作成

価値の見える化：デジタル革命が産み出す市場の変化

C2C(マーケットプレイス型)流通総額の国際比較



(注)2016年時点。

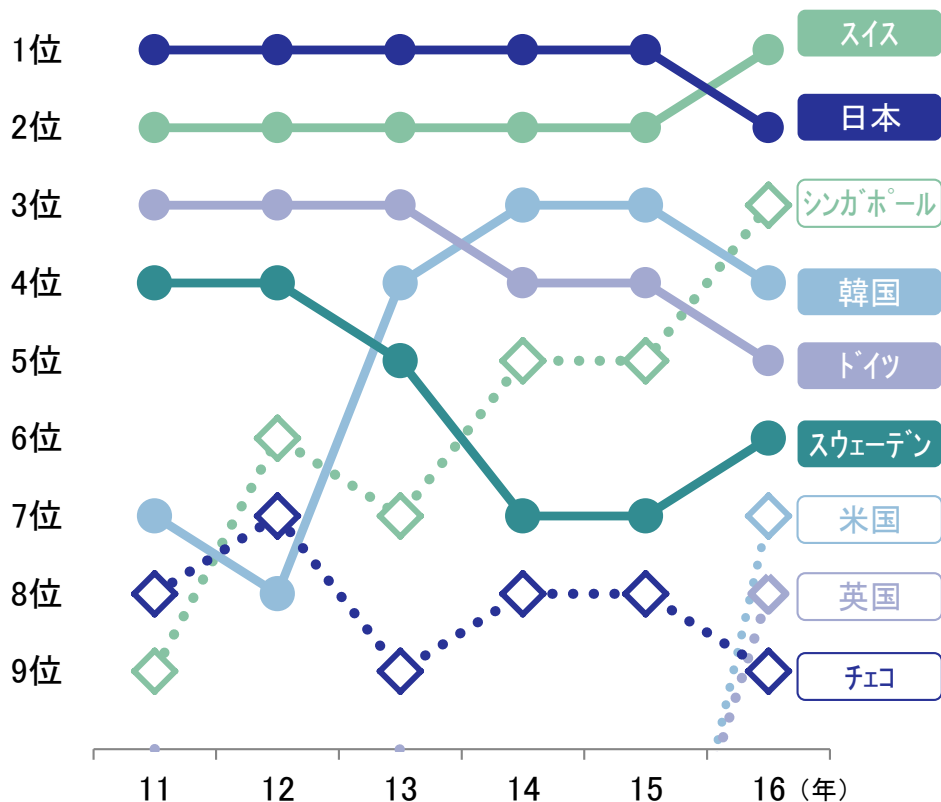
(資料)ECCLab「ECモール・カート・アプリの流通総額まとめ」より、みずほ総合研究所作成

生産性を高めるために何をすればいいのか？
～求められる発想の転換と意識改革

見方次第で変わるニッポンの未来～モノづくりの目指すべき方向性

経済複雑性指数の世界ランキング

経済複雑性指標(Economic Complexity Index)は、各国貿易統計から当該国製品の多様性と遍在性(ubiquity)を指標化したもの。上位ほど多様な産業基盤を有していることを示唆

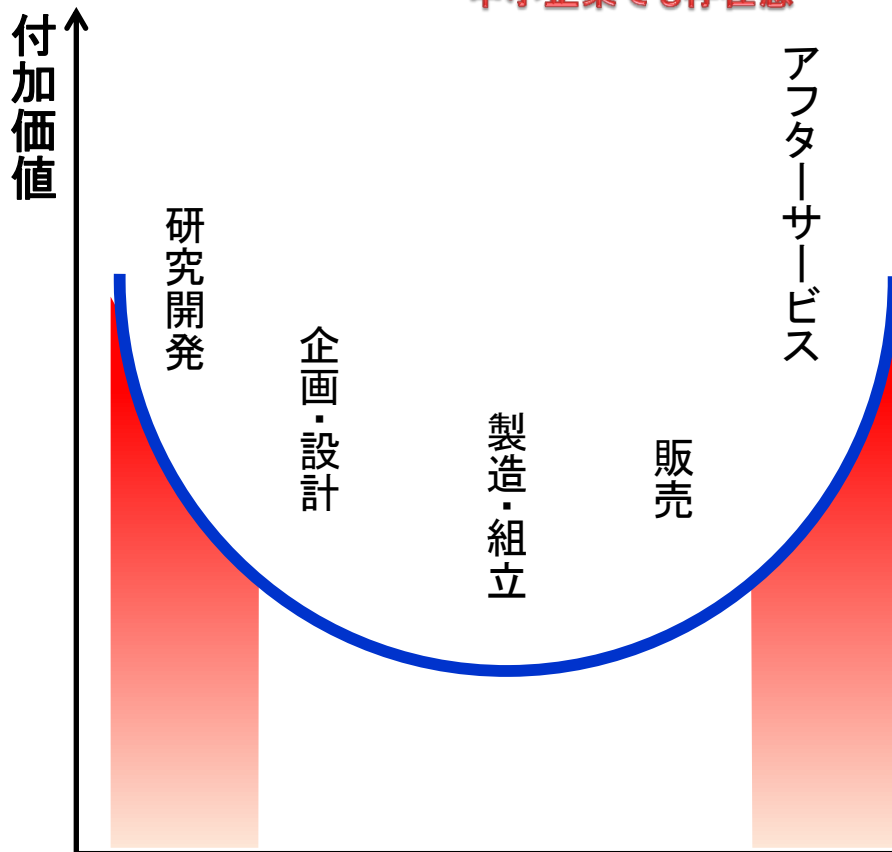


(注)2017年版。

(資料)MIT Media Lab HPより、みずほ総合研究所作成

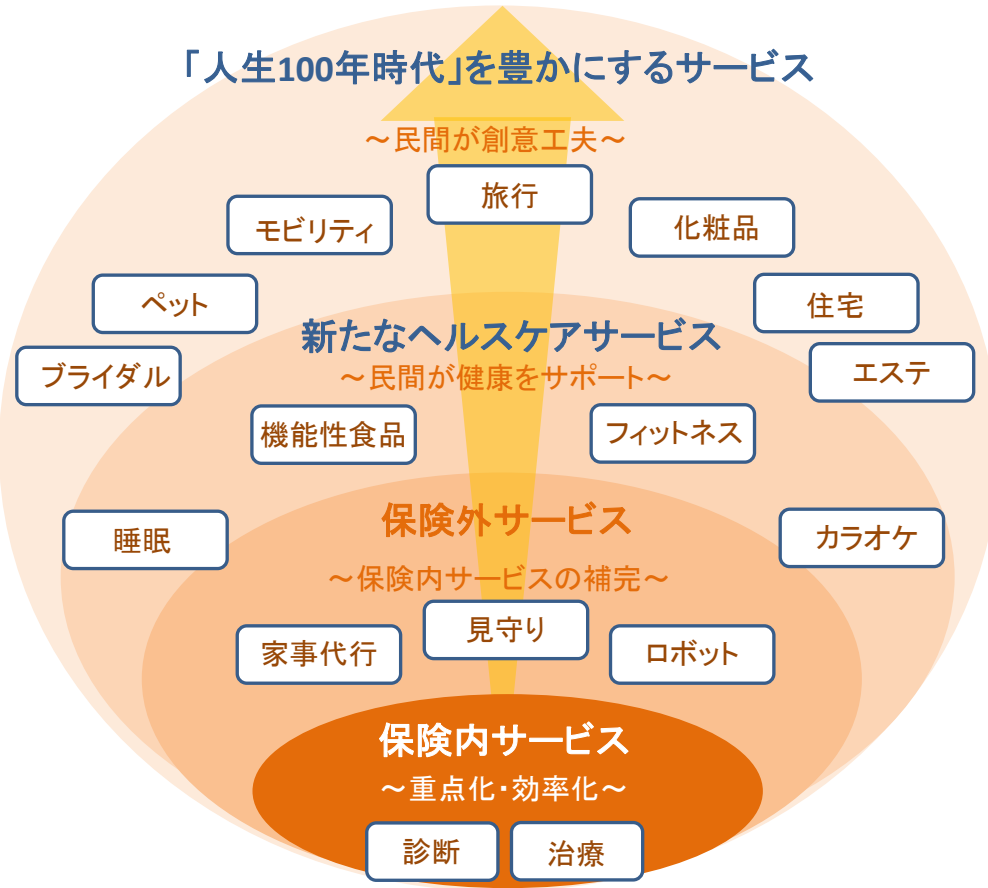
スマイルカーブと日本の戦略分野のイメージ

国際分業が進む中で米国や中国企業を目指す必要なし
あつたらいいな！を実現する課題解決型部素材企業に活路
中小企業でも存在感



見方次第で変わるニッポンの未来～日本が描く高齢社会の将来像

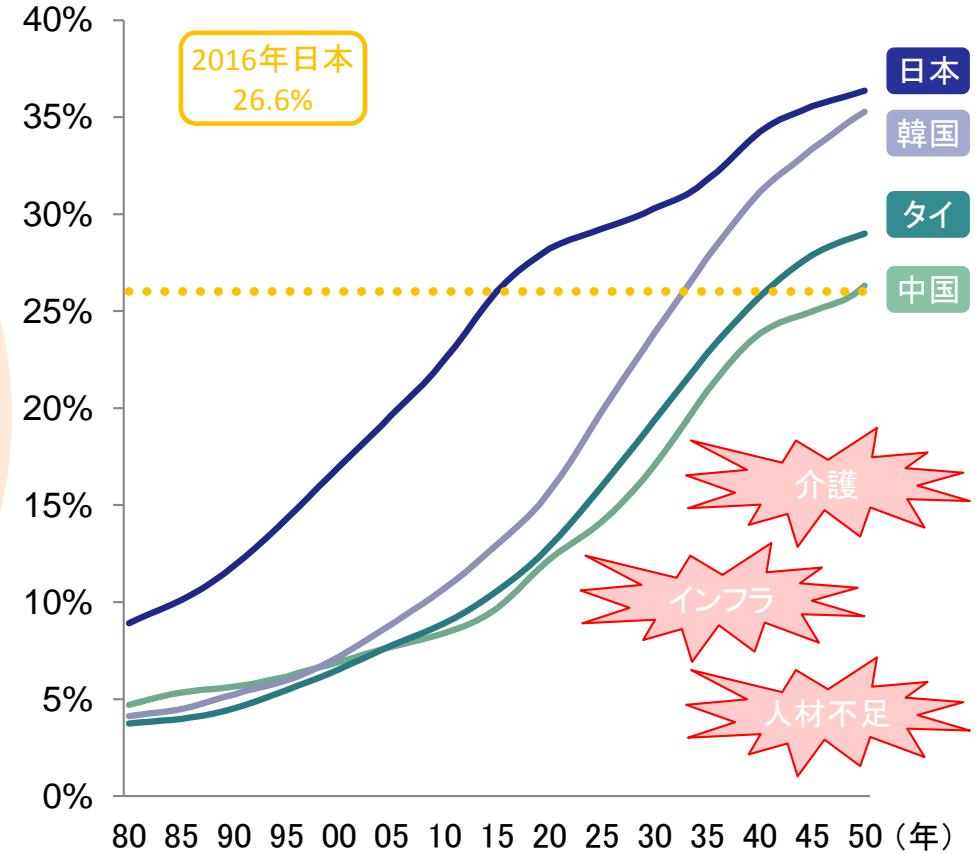
人生100年時代のヘルスケアビジネス領域



(資料)みずほ銀行産業調査部作成

アジア主要国の高齢化率

急速に進むアジアの高齢化
ヘルスケアビジネスは日本だけにとどまらない！！

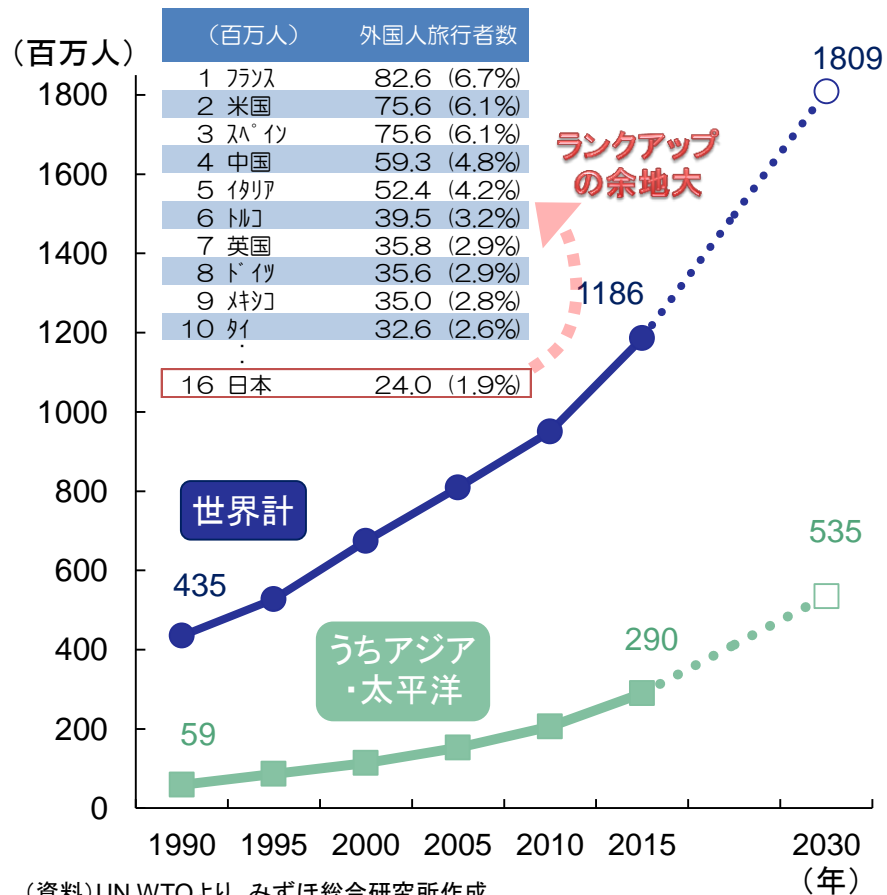


(資料)世界銀行より、みずほ総合研究所作成

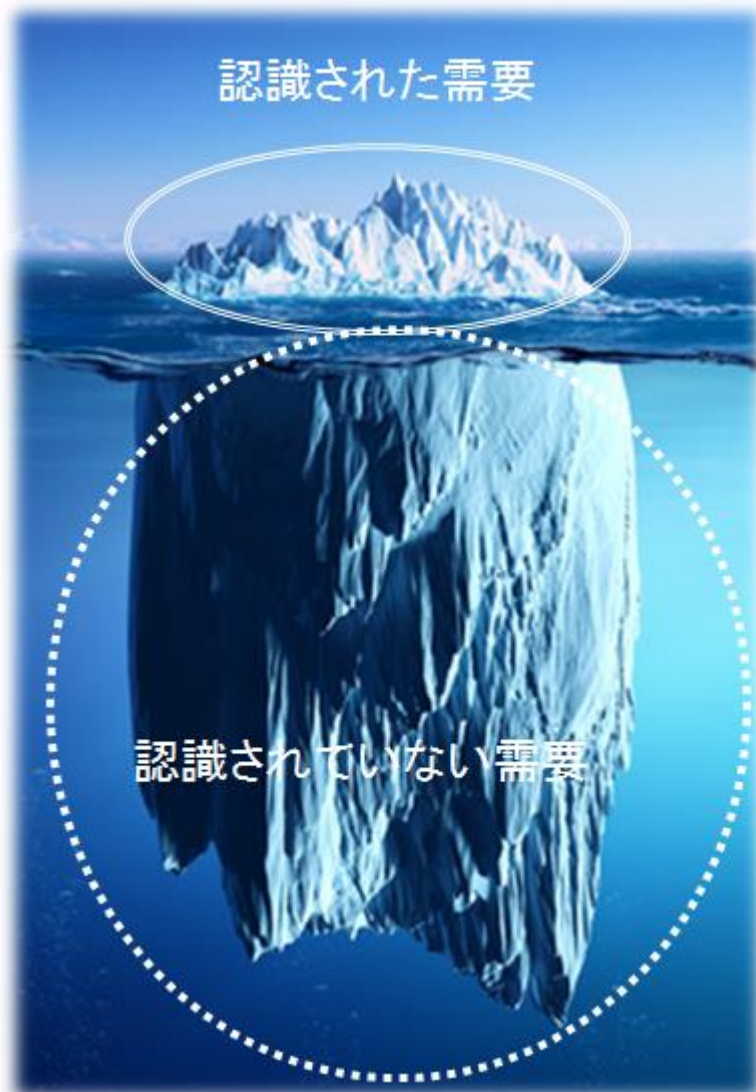
見方次第で変わるニッポンの未来～海外から見た日本は魅力満載

世界の海外旅行者数の長期予測

日本の観光競争力ランキングは第4位
 自然・文化遺産・伝統芸能・サブカルチャーなど魅力満載

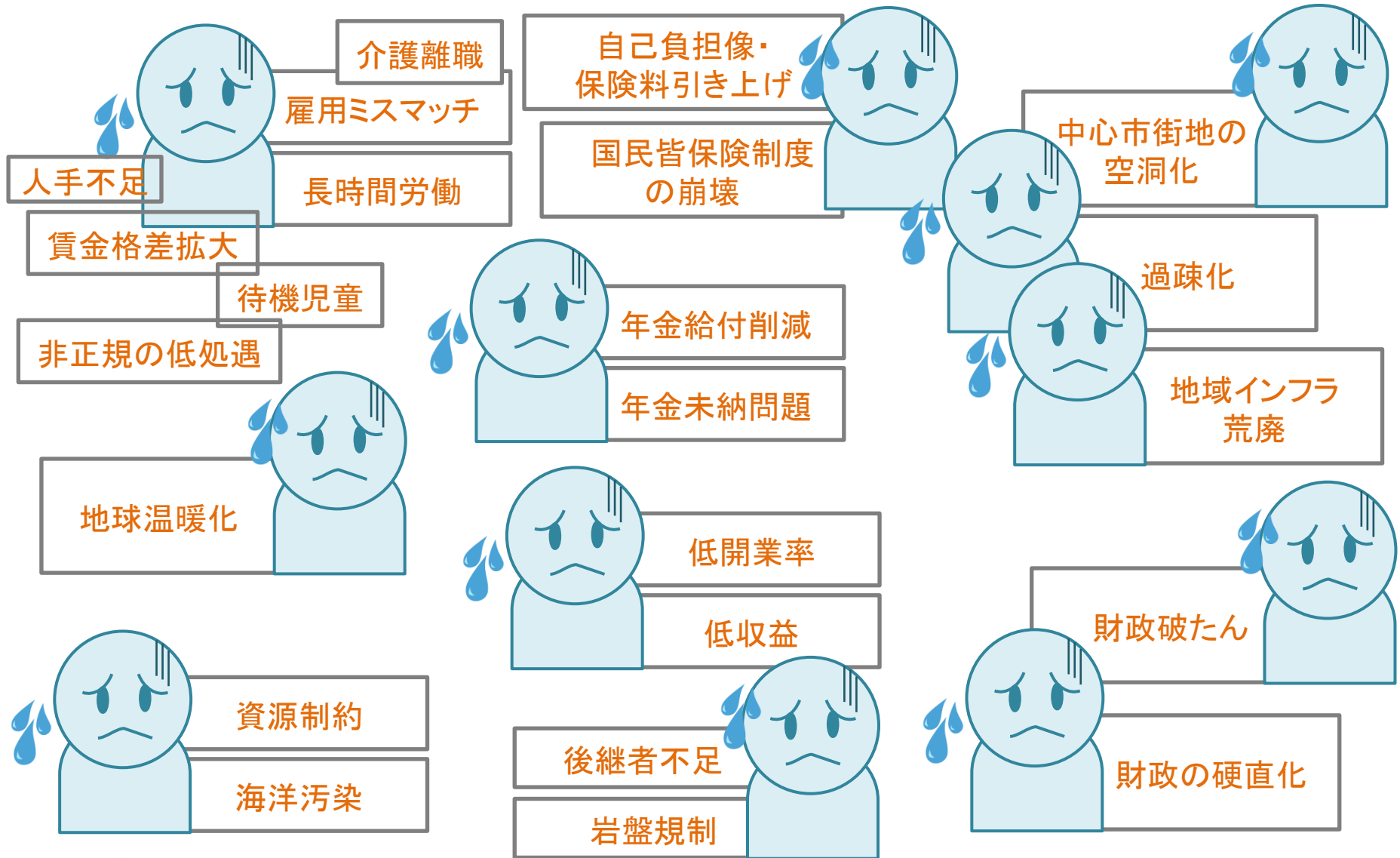


(資料) UN WTOより、みずほ総合研究所作成



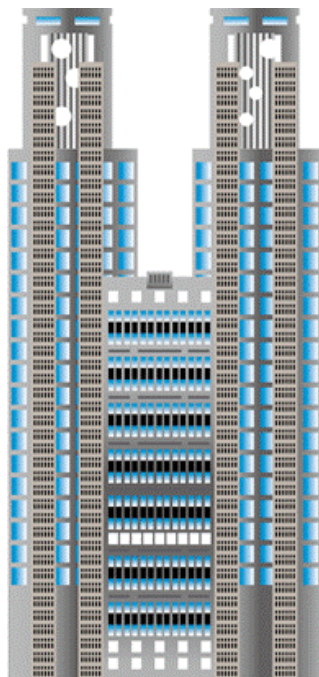
(資料) <http://freedesignfile.com/366407-iceberg-underwater-reflection-stock-photo/>より転載

一方で山積する課題……



(資料) みずほ総合研究所作成

既に多様な政策メニューが存在しているが.....



経営診断・相談

展示会・商談会開催

事業計画策定支援

大企業とのマッチング

サイバーセキュリティ対策

海外販路拡大支援(人材育成)

下請企業対策(取引適正化)

技能人材・中核人材育成支援

創業資金支援

財務面からの事業承継サポート

創業予定者の掘り起し(機運醸成、創業後押し)

インキュベーション施設の提供

成長分野参入支援
(医療機器・ロボット・航空機等)

創業者育成プログラムの提供

交流・連携プラットフォームの構築

知的財産活用サポート

研究開発資金助成

技術支援窓口の設置

技術セミナー開催

若手・女性の開業支援



(資料) みずほ総合研究所作成

無意識のうちに染み付いた行動バイアス



極端回避 バイアス

いくつもの選択肢が与えられた場合、極端なものは排除し、真ん中の選択肢を選ぶこと

論理の欠如



現状維持 バイアス

今ある物や自分の置かれた状況に大きな価値を見だし、新しい行動を躊躇うこと

変化への
対応を躊躇



投影 バイアス

現在の自分の感情や置かれている状況が将来の予測に大きく影響すること

希望的観測
に依拠



確証 バイアス

自分の選択の正しさを裏付ける情報ばかり集めたり、不利な情報に目をつぶり、都合のよいように解釈したがること

不安から
目をそらす

ポジティブ心理学のススメ



○アルフレッド・アドラー (Alfred Adler)
オーストリア出身の精神科医、心理学者、社会
理論家。個人心理学(アドラー心理学)の創始者。

(資料)Wikimedia Commonsより、みずほ総合研究所作成

人は「過去」に縛られているわけではない。あなた
の描く「未来」があなたを規定しているのだ。
過去の原因は「解説」になっても、「解決」には
ならない。

「過去を悔やむ」のではなく「未来を描く」のである

「暗い」のではなく「優しい」のだ。「のろま」では
なく「ていねい」なのだ。「失敗ばかり」ではなく
「たくさんのチャレンジをしている」のだ。

「失敗を恐れる」のではなく「成功を夢みる」のである

まず無理だと思ってもやらせてみる。失敗して
も「今度は上手くできるはず」と声をかけること
が大切。

「失敗を嘆く」のではなく「失敗から学ぶ」のである

ご清聴ありがとうございました！

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、弊社が信頼に足り且つ正確であると判断した情報に基づき作成されておりますが、弊社はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、ご自身の判断にてなされますようお願い申し上げます。